

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	アジア諸国との交流事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	文化観光 局	国際 部	アセアン交流推進室 課	評価責任者(課長名)	酒谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	5	国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくり	有
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画	「堺市国際化推進プラン(改訂版)」(平成25年3月発行)及び追補版(平成30年3月発行)			
5	事業実施の経緯	堺市は中近世時代における東南アジア諸国と交易・交流の歴史を有しており、その歴史的財産を活かし、今後大きな成長が見込まれるアセアン各国と経済・環境・文化・学術・教育などの各分野で相互交流を行い、国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくりに資するために事業を実施する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	アセアン各国と交流がある、または交流を望む企業・団体・学校等を含む堺市民。堺市のPR・プロモーション及び海外人材とのネットワーク形成を目的として、①将来のナショナル・リーダーとしての活躍が期待されるアセアン各国で日本に興味を持ち、日本語・日本文化を学んでいる大学生。②本事業の参加者を通じて堺市の情報を伝えるアセアン各国の人々。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	南蛮貿易として東南アジア諸国との交易・交流の歴史やベトナム総領事館が市内に立地する堺市の強みを活かし、成長著しいアセアン各国との経済・文化・観光・教育・環境等各分野での相互交流を促進させる。本事業を通じて、国際交流・国際協力の推進と多文化共生のまちづくりを推進するとともに、世界の人々が行き交い、来堺者が増加し、にぎわいあふれる国際都市をめざす。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	堺・アセアンウィーク実行委員会事業を中心に、次のような事業を実施した。 ①日本について学んでいる参加6カ国の大学生が「民間大使」として、堺市内の小学生などに自国の文化を日本語で紹介するとともに、市内の大学や東南アジア諸国との市場交流を望む企業などを訪問し、今後の堺市と各国との懸け橋となる活動に繋がった。 ②アセアンの大学で理工系科目について学んでいる学生を4カ国から招へいし、市内大学での研究発表や、市内企業などの見学により、将来の本市内への留学や企業就職につながる取組みを実施した。 ③市民参加型イベントである「堺・アセアンひろば」では、Minaさかいにて、参加国の特色ある食や伝統産業文化などを体験できるワークショップ、各国の料理や雑貨を販売するアセアンフードフェアを開催した。 ④アセアン諸国の風景や歴史的建造物や文化的催しなどを撮影した写真を公募、展示した。 ⑤facebook等のインターネットを通じて、アセアンの人々に向けて情報の発信・PRを行った。 ⑥アセアン文化講座事業では、通年で市民向けの語学・料理・工芸等の各国文化講座を開催し、多文化理解を深めた。アセアンウィーク期間中にはアセアン各国の映画の上映会を開催した。 ⑦アセアン諸国と日本との外交関係に基づく周年事業や各国総領事館等との協力事業の実施等、適宜機会をとらえて堺市のPR・情報発信や、観光、経済等の連携に繋がる交流事業を支援した。 ⑧上記の堺・アセアンウィーク事業をはじめ、ダナン越日文化交流フェスティバルに参加して堺市ブース出展や堺市民間団体による文化実演プログラムの実施、さらには堺市での投資経済セミナーの開催など、10年間の継続的な相互交流に基づき、平成31年2月23日、ベトナム社会主義共和国ダナン市との友好都市提携を締結した。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()			
10	直接実施以外の主な支出先	民間大使プログラム事業、理工系学生交流事業、堺・アセアンひろば事業、写真展事業等				

Ⅲ. 投入量

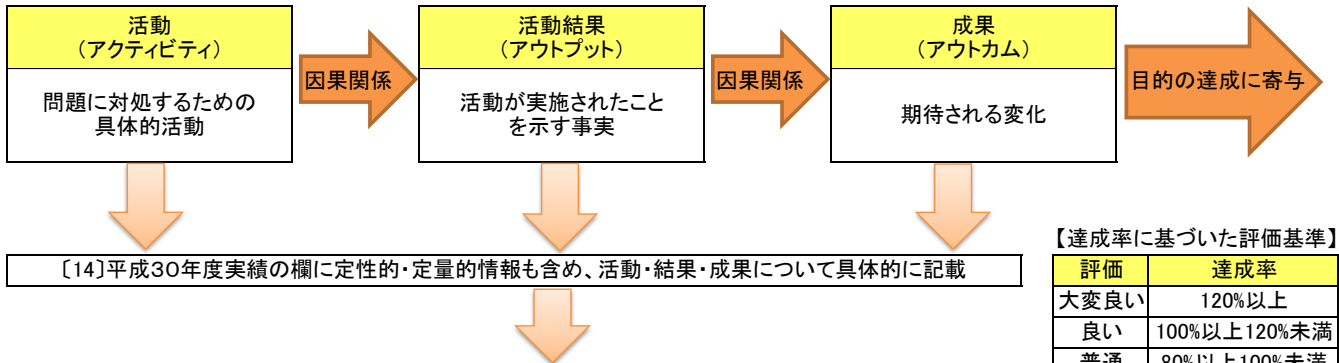
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	32,158	38,575	38,553	42,349	
主な事業費内訳	旅費(特別旅費・費用弁償を含む)	千円	2,021	2,759	4,429	4,006
	堺・アセアンウィーク開催負担金	千円	18,800	18,416	18,024	18,800
	その他経費(非常勤報酬、事務的経費等)	千円	11,337	17,129	16,100	19,543
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
	その他(国際交流事業指定寄附金)	千円		271	40	
一般財源	千円	32,158	38,304	38,513	42,349	
12 人件費 (b)	千円	34,500	34,500	34,500	34,100	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	66,658	73,075	73,053	76,449	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	アジア諸国との交流事業	シート番号	08-26
--------------	-------------	--------------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



[14]平成30年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>「堺・アセアンウィーク2018」を開催し、アセアン全10か国との交流事業を実施するとともに、日本とインドネシアとの国交樹立60周年を記念して、「日本インドネシア国交樹立60周年記念事業」(音楽コンサート)実施した。また、「関西ベトナムデイズ2018in堺」を開催し、2019年2月にはベトナム社会主義共和国ダナン市との友好都市提携を行った。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		平成28年度まで：民間大使訪問校数 平成29年度から：民間大使訪問箇所数	箇所	目標値	25	26	28	30
				実績値	25	28	28	
				達成率	100%	108%	100%	
				評価	良い	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		平成28年度まで：民間大使(アセアン各国から来堺した大学生)が訪問した堺市内の小学校数。 平成29年度から：民間大使(アセアン各国から来堺した大学生)が訪問する堺市内の小学校数+民間法人数。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		次年の「堺・アセアンひろば」への来場希望率	%	目標値	-	90%	92%	94%
				実績値	96%	91%	93%	
				達成率	-	101%	101%	
				評価	-	良い	良い	
	算出方法・設定根拠など		平成29年度からの新たな指標として、来場者にアンケートを取り、来年も来場したいか、の質問に対して「はい」の返答を得る割合が90%を超えることを目標とする。					

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
堺・アセアンウィーク事業参画国数については、現地関係者及び堺市内を中心とした受入各方面との事前調整を迅速かつ綿密に行うことにより、ASEAN加盟国全て(10カ国)の参画を実現することができた。	

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。